



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年1月31日

上場会社名 トーカロ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3433 URL https://www.tocalo.co.jp/
 代表者(役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 三船 法行
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 常務執行役員 管理本部長(氏名) 後藤 浩志 (TEL) 078-303-3433
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	32,227	10.1	7,555	15.8	7,738	19.4	4,997	19.6
2021年3月期第3四半期	29,279	2.4	6,525	23.3	6,479	23.2	4,177	23.9

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 5,957百万円(33.3%) 2021年3月期第3四半期 4,469百万円(31.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2022年3月期第3四半期	円 銭 82.18	円 銭 —
2021年3月期第3四半期	68.71	—

(注) 1 第1四半期連結会計期間の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しております。

2 第1四半期連結会計期間より表示方法の変更を行ったため、連結経営成績(累計)の売上高、営業利益は当該表示方法の変更を反映した組替え後の数値及び対前年同四半期増減率を記載しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2022年3月期第3四半期	百万円 66,958	百万円 50,142	% 70.2
2021年3月期	64,183	46,891	68.9

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 47,029百万円 2021年3月期 44,201百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2021年3月期	円 銭 —	円 銭 12.50	円 銭 —	円 銭 22.50	円 銭 35.00
2022年3月期	—	20.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,500	8.2	10,100	13.6	10,200	14.4	6,600	20.8	108.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

第1四半期連結会計期間より表示方法の変更を行ったため、増減率については、当該表示方法の変更を反映した組替え後の前年同期数値を用いて算出しています。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は【添付資料】P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	63,200,000株	2021年3月期	63,200,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	2,381,222株	2021年3月期	2,405,136株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	60,806,492株	2021年3月期3Q	60,794,864株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項については、【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

四半期決算補足説明資料は、当社ホームページに掲載することとしております。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
3. その他	9
生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2021年4月1日から2021年12月31日まで、以下「当第3四半期」という)の当社グループを取り巻く事業環境は、世界的な新型コロナウイルス感染症の再拡大、サプライチェーンの混乱と物価上昇懸念など先行き不透明感が増しているものの、ワクチン接種の普及による経済活動の再開、旺盛な半導体需要の継続などに支えられ、総じて堅調に推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、感染症拡大を防止し工場の操業を継続することに最大限注力しつつ、中長期を見すえた新技術開発と一層のコスト削減、生産効率の向上に取り組んでまいりました。

当第3四半期における当社グループの連結業績は、売上高は前年同期比29億47百万円(10.1%)増の322億27百万円、営業利益は同10億30百万円(15.8%)増の75億55百万円、経常利益は同12億59百万円(19.4%)増の77億38百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同8億19百万円(19.6%)増の49億97百万円となりました。

なお、第1四半期より受取ロイヤリティー等の計上区分を営業外収益から売上高へ変更しており、経営成績については当該表示方法の変更を反映した組替え後の前第3四半期の四半期連結財務諸表の数値を用いて比較しております。(受取ロイヤリティー等の計上額は、当第3四半期は1億04百万円、前第3四半期は1億48百万円。)

また、セグメント別の業績は次のとおりであります。

[溶射加工(単体)]

産業機械分野の受注の弱さが継続しているものの、半導体・FPD、鉄鋼、その他の分野で前年同期を上回る受注水準となり、当セグメントの売上高は前年同期比16億19百万円(7.1%)増の243億22百万円、セグメント利益(経常利益)は同7億12百万円(13.6%)増の59億64百万円となりました。

[国内子会社]

国内子会社(日本コーティングセンター株式会社)は、半導体不足を背景とした自動車業界の停滞の影響があったものの、建設機械メーカー向けなどの切削工具の受注が堅調に推移し、当セグメントの売上高は前年同期比3億80百万円(26.6%)増の18億12百万円、セグメント利益(経常利益)は同89百万円(34.1%)増の3億52百万円となりました。

[海外子会社]

中国での石油分野の受注が低調に推移したものの、半導体・FPD関連は概ね好調であったため、当セグメントの売上高は前年同期比7億50百万円(21.8%)増の41億87百万円、セグメント利益(経常利益)は同1億87百万円(19.8%)増の11億34百万円となりました。

[その他表面処理加工]

その他表面処理加工については、総じて受注が回復傾向にあり、売上高は前年同期比2億41百万円(15.5%)増の18億01百万円、セグメント利益(経常利益)は同2億34百万円増(3.4倍)の3億31百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は669億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ27億75百万円の増加となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が12億32百万円増加したことや、溶射加工(単体)セグメントにおける半導体分野に係る新棟建設や水島工場移転先の建屋建設等により、有形固定資産が17億43百万円増加したことなどによるものであります。

また、当第3四半期連結会計期間末における負債は168億16百万円と前連結会計年度末比4億75百万円減少いたしました。これは電子記録債務が増加した一方で、未払法人税等の減少や借入の返済が進んだことなどによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は501億42百万円と前連結会計年度末比32億50百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金や為替換算調整勘定の増加によるものであります。この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は70.2%(前連結会計年度末比1.3ポイントの上昇)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期業績予想につきましては、2021年10月29日発表の連結業績予想に変更はありません。今後の情報収集等により、見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,227	15,874
受取手形及び売掛金	10,591	11,823
有価証券	3,000	3,000
仕掛品	1,200	1,420
原材料及び貯蔵品	1,641	1,963
その他	490	446
貸倒引当金	△10	△14
流動資産合計	33,140	34,514
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,273	14,985
機械装置及び運搬具（純額）	3,644	3,597
土地	9,050	10,118
その他（純額）	3,626	1,637
有形固定資産合計	28,594	30,338
無形固定資産	264	219
投資その他の資産		
投資その他の資産	2,189	1,886
貸倒引当金	△5	-
投資その他の資産合計	2,183	1,886
固定資産合計	31,043	32,444
資産合計	64,183	66,958

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,194	1,207
電子記録債務	3,849	5,215
短期借入金	15	-
1年内返済予定の長期借入金	1,765	1,497
未払法人税等	1,772	751
賞与引当金	1,277	709
その他	2,318	3,387
流動負債合計	12,193	12,767
固定負債		
長期借入金	4,249	3,164
退職給付に係る負債	789	817
その他	58	66
固定負債合計	5,097	4,048
負債合計	17,291	16,816
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,658	2,658
資本剰余金	2,293	2,317
利益剰余金	39,841	42,254
自己株式	△773	△766
株主資本合計	44,020	46,464
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8	△8
為替換算調整勘定	226	603
退職給付に係る調整累計額	△36	△30
その他の包括利益累計額合計	181	564
非支配株主持分	2,690	3,113
純資産合計	46,891	50,142
負債純資産合計	64,183	66,958

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	29,279	32,227
売上原価	18,279	19,889
売上総利益	11,000	12,338
販売費及び一般管理費	4,475	4,783
営業利益	6,525	7,555
営業外収益		
受取利息及び配当金	6	10
為替差益	-	119
その他	39	71
営業外収益合計	45	201
営業外費用		
支払利息	9	6
支払手数料	6	6
支払補償費	25	5
為替差損	49	-
その他	1	1
営業外費用合計	91	18
経常利益	6,479	7,738
特別利益		
固定資産売却益	1	1
保険解約返戻金	12	-
特別利益合計	13	1
特別損失		
固定資産除売却損	8	120
ゴルフ会員権評価損	-	0
特別損失合計	8	121
税金等調整前四半期純利益	6,484	7,618
法人税等	1,998	2,298
四半期純利益	4,486	5,320
非支配株主に帰属する四半期純利益	309	323
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,177	4,997

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	4,486	5,320
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	△0
為替換算調整勘定	△20	632
退職給付に係る調整額	-	5
その他の包括利益合計	△17	637
四半期包括利益	4,469	5,957
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,155	5,379
非支配株主に係る四半期包括利益	314	577

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、当社は、輸出版売においては主に出荷時に収益を認識しておりましたが、インコタームズで定められた貿易条件に基づきリスク負担が顧客に移転した時点で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。また、契約変更に関して収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行っております。なお、当第3四半期連結累計期間における利益剰余金の期首残高に対する影響額はありません。

(追加情報)

(表示方法の変更)

これまで「営業外収益」の「受取ロイヤリティー」、「受取技術料」に計上しておりました技術供与契約に係る収益は、第1四半期連結会計期間より「売上高」に含めて表示する方法に変更いたしました。なお、当技術供与契約に係る収益計上に伴い発生する費用については、これまで「営業外費用」の「技術者派遣費用」として計上しておりましたが、第1四半期連結会計期間より「売上原価」として表示いたします。また、「流動資産」の「その他」に計上していた上記収益に係る未収入金を「受取手形及び売掛金」に組替えて表示しております。

これは、当社において技術供与契約に係る収益の重要性が増しているなか、第1四半期連結会計期間の期首から適用する「収益認識に関する会計基準」等に則して検討した結果、本業に付随して定期的にも生じることからも営業内の収益と判断したためであります。

この結果、前連結会計年度の四半期連結貸借対照表において、「流動資産」の「その他」に表示していた未収入金19百万円を「受取手形及び売掛金」に組替えております。さらに前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「営業外収益」の「受取ロイヤリティー」148百万円は「売上高」として組替えを行っております。

3. その他

生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	前年同四半期比	
	生産高(百万円)	生産高(百万円)	金額(百万円)	増減率 (%)
溶射加工(単体)				
半導体・FPD製造装置 用部品への加工	13,540	14,979	1,439	+10.6
産業機械用部品への加工	3,134	2,758	△375	△12.0
鉄鋼用設備部品への加工	2,390	2,547	157	+6.6
その他の溶射加工	3,638	4,036	398	+10.9
溶射加工(単体) 計	22,703	24,322	1,619	+7.1
その他表面処理加工	1,560	1,801	241	+15.5
国内子会社	1,431	1,812	380	+26.6
海外子会社	3,436	4,187	750	+21.8
合 計	29,131	32,123	2,991	+10.3

(注) 上記の金額は、販売価格(税抜き)によっております。

② 受注状況

(受注高)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	前年同四半期比	
	受注高(百万円)	受注高(百万円)	金額(百万円)	増減率 (%)
溶射加工(単体)				
半導体・FPD製造装置 用部品への加工	13,693	15,923	2,229	+16.3
産業機械用部品への加工	2,916	2,807	△108	△3.7
鉄鋼用設備部品への加工	2,268	2,600	332	+14.7
その他の溶射加工	3,707	4,064	356	+9.6
溶射加工(単体) 計	22,586	25,396	2,810	+12.4
その他表面処理加工	1,528	1,964	435	+28.5
国内子会社	1,441	1,800	359	+25.0
海外子会社	3,405	4,480	1,075	+31.6
合 計	28,960	33,642	4,681	+16.2

(注) 上記の金額は、販売価格(税抜き)によっております。

(受注残高)

セグメントの名称	前第3四半期 連結会計期間末 (2020年12月31日)	当第3四半期 連結会計期間末 (2021年12月31日)	前年同四半期比	
	受注残高(百万円)	受注残高(百万円)	金額(百万円)	増減率 (%)
溶射加工(単体)				
半導体・FPD製造装置 用部品への加工	3,030	4,197	1,167	+38.5
産業機械用部品への加工	391	363	△28	△7.2
鉄鋼用設備部品への加工	726	744	18	+2.5
その他の溶射加工	552	605	52	+9.5
溶射加工(単体) 計	4,701	5,910	1,209	+25.7
その他表面処理加工	212	368	155	+72.9
国内子会社	47	48	0	+1.5
海外子会社	1,062	1,334	272	+25.7
合 計	6,024	7,662	1,638	+27.2

(注) 上記の金額は、販売価格(税抜き)によっております。

③ 販売実績

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	前年同四半期比	
	販売高(百万円)	販売高(百万円)	金額(百万円)	増減率 (%)
溶射加工(単体)				
半導体・FPD製造装置 用部品への加工	13,540	14,979	1,439	+10.6
産業機械用部品への加工	3,134	2,758	△375	△12.0
鉄鋼用設備部品への加工	2,390	2,547	157	+6.6
その他の溶射加工	3,638	4,036	398	+10.9
溶射加工(単体) 計	22,703	24,322	1,619	+7.1
その他表面処理加工	1,560	1,801	241	+15.5
国内子会社	1,431	1,812	380	+26.6
海外子会社	3,436	4,187	750	+21.8
受取ロイヤリティー等	148	104	△43	△29.5
合 計	29,279	32,227	2,947	+10.1

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

以 上